

木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり

2022年2月19日(土)～3月27日(日)

目黒区美術館

10:00～18:00 (入館は17:30まで) 月曜休館
(ただし、3月21日(月・祝)は開館、3月22日(火)は休館)

一般 800 (600) 円、大高生・65 歳以上 600 (500) 円、中学生以下無料
*障がいのある方とその付添者1名は無料、() 内は 20 名以上の団体料金
*目黒区在住・在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金
になります(他の割引との併用はできません)

主 催 公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
企画協力 株式会社クレヴィス
後 援 公益財団法人 北野生涯教育振興会、公益社団法人 日本写真家協会、
公益社団法人 日本写真協会
木村伊兵衛作品 監修 田沼武能(写真家)

新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、展覧会の会期等が変更になる
可能性があります。ご来館時の注意事項等も含め、開館状況を当館ホームページ
等でご確認のうえご来館ください。

<https://www.mmat.jp>



① 木村伊兵衛 パリ (1954-55年)
©Naoko Kimura

展覧会概要

——木村伊兵衛により、戦後のパリが色鮮やかに蘇る

東京生まれ、報道写真やポートレートの名手として日本の写真界を牽引し続けた木村伊兵衛(1901~74年)は、1954年と翌55年に、日本人写真家として戦後初めてヨーロッパを取材しています。愛用の小型カメラ(ライカ)と開発されて間もない国産のカラーフィルムを手にパリを訪れ、そこで写真家アンリ・カルティエ＝ブレッソンやロベール・ド・アノーらと親しく交流し、その案内で古い通りや市場など、庶民の生活の場を撮影しました。木村がシャッターを切った場面からは、街角の生き生きとした光景や人々の息づかいなど往時のパリの魅力が色鮮やかに蘇ります。

本展は、木村作品のなかでもとりわけ異色なカラーのスナップ写真131点を中心に、1910年から50年代にかけてパリ留学を経験した当館所蔵の画家たちの作品をあわせて展示します。念願の洋行を果たした彼らは、ヨーロッパの空気の中で自分の作品を新しい方向へと変えるべく、ひたむきにパリを描き出しました。異国の地を旅するように、写真と絵画、異なる技法によって表された色とりどりのパリの情景をお楽しみください。

木村伊兵衛 略歴



② 撮影 = 田沼武能

1901年、東京・下谷生まれ。子どものころ、おもちゃのカメラを手にして写真に興味を持つ。1930年、ライカを入手し、花王石鹸の広告部門でプロ写真家としての活動を開始。雑誌『光画』に発表した東京の下町のスナップショットと、「ライカによる文芸家肖像写真展」で頭角をあらわす。以後、「ライカ使いの名手」として活躍する。1950年、日本写真家協会初代会長に就任。アマチュアの指導者としても、土門拳とともに「リアリズム写真運動」を推進した。1954年、日本人写真家として戦後初めてヨーロッパを取材する。1974年没、享年72。

展示構成

I パリの街角

パリに降り立ち、街中ですれ違う何気ない風景を捉えた写真からは、旅の始まりの静かな高揚感が感じられます。



③ 木村伊兵衛 パリ (1954年)
©Naoko Kimura

II 素顔のパリっ子

下町に生きる庶民の素顔と日常。街の空気を身に染み込ませ、スナップショットの名手としての本領を存分に発揮しています。



④ 木村伊兵衛 ミラボー橋、パリ (1955年)
©Naoko Kimura

III 安らぐパリ

余暇を楽しむ人々が醸し出す、親密で和やかな雰囲気。ふとした瞬間の表情を愛情のある目で眺め、撮影しています。



⑤ 木村伊兵衛 ロンシャン競馬場、パリ (1954年)
©Naoko Kimura

IV 華やぐパリ

当時のカラーフィルムの性能の限界を模索するように、霧の日や黄昏時のパリを写し出しています。低感度ゆえの淡い色彩とコントラストによって、パリの情景が幻のように浮かび上がります。



⑥ 木村伊兵衛 夕暮れのコンコルド広場、パリ (1954年)
©Naoko Kimura

V 目黒区美術館コレクション 「私のパリ」

1910～50年代にかけて、多くの日本の芸術家がパリで研鑽を積みました。瞬間を切り取る写真とは異なり、彼らは、街に溶け込む古い建物などを中心に、時間をかけて対象と向き合い、その存在感を独自の色彩で描き出しています。当館所蔵作品より、藤田嗣治、荻須高德をはじめ、滞欧期の画家の作品を展示します。



⑦ 荻須高德 《サンマルタン通り》1960年、目黒区美術館蔵
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 E4477

開催情報

| | |
|------------|--|
| タイトル | 木村伊兵衛と画家たちの見たパリ 色とりどり |
| 会期 | 2022年2月19日(土)～3月27日(日) |
| 会場 | 目黒区美術館 |
| 開館時間 | 10:00～18:00(入館は17:30まで) |
| 休館日 | 月曜休館(ただし、3月21日(月・祝)は開館、3月22日(火)は休館) |
| 観覧料 | 一般800(600)円、大高生・65歳以上600(500)円、中学生以下無料 *障がいのある方とその付添者1名は無料、()内は20名以上の団体料金 *目黒区在住・在勤、在学の方は受付で証明書類をご提示頂くと団体料金になります(他の割引との併用はできません) |
| 主催 | 公益財団法人 目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館 |
| 企画協力 | 株式会社クレヴィス |
| 後援 | 公益財団法人 北野生涯教育振興会、公益社団法人 日本写真家協会、 公益社団法人 日本写真協会 |
| 木村伊兵衛作品 監修 | 田沼武能(写真家) |
| 交通機関 | JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅(西口)から徒歩10分 東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩20分 東急バス「権之助坂」(目黒通り)下車徒歩5分、「田道小学校入口」(山手通り)下車徒歩3分 |
| ホームページ | https://www.mmat.jp |

関連催事

| | |
|-----|--------------------------|
| 講演会 | 「木村伊兵衛のパリを語る」(仮) |
| 講師 | 田沼武能氏(写真家・本展監修) |
| 日時 | 2022年2月27日(日)14:00～15:30 |
| 会場 | 目黒区美術館 |

その他、講演会、ミュージアムコンサート等の開催を予定しています。
詳細は決まり次第、当館ホームページに掲載いたします。

広報写真

本リリース掲載の写真画像の一部を本展広報用写真としてご提供いたします。
図版下①～⑦が図版番号です。ご希望の方は、申込用紙(4ページ目)の内容をご確認の上、
必要事項をお書き添えいただき、FAXでお申込みいただくか、同内容を本展担当者宛メールにて
お申し込みください。

本展の問い合わせ先

目黒区美術館 展覧会担当(学芸) 菅田・山田 / 広報担当(事務) 濱・竹森
〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36
TEL 03-3714-1201(代表) FAX 03-3715-9328(代表)
E-mail: mmatoffice@mmat.jp <https://www.mmat.jp>

宛先：目黒区美術館 [担当] 濱・竹森 宛て
 FAX：03-3715-9328 e-mail：mmatoffice@mmat.jp



■ 本票に必要事項をご記入のうえ、上記宛先まで FAX でお申し込みいただくか、メールにて本票と同内容の事項とご希望の画像番号をお知らせ下さい。

| | | | |
|------------------|---|-----|--|
| お申し込み日 | 年 月 日 | | |
| 御社名 ご担当者氏名 | | | |
| 住 所 | 〒 | | |
| TEL | | FAX | |
| E-mail | | | |
| 掲示媒体名 (雑誌名など) | | | |
| メディアの形態 | 【紙媒体】 新聞 / 雑誌 / ミニコミ誌 / フリーペーパー / その他 () 【電子媒体】 テレビ / ラジオ / WEB サイト / 携帯サイト / その他 () | | |
| 発行・放送予定日 | 年 月 日 | | |
| ご希望の画像 | ①～⑦のご希望の図版番号をご記入ください | | |
| 画像の使用条件等 | *画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。 *データを第三者に渡すことは禁止いたします。使用后、データは破棄してください。 *展覧会の名称、期間、会場などの情報は分かりやすく掲載してください。 *写真への文字載せ、画像加工(トリミング・色調整など)は不可です。 但し、モノクロで使用の場合は、コントラスト、ガンマ値の適宜調整を許可する場合があります。 *キャプション、クレジットは必ず明記してください。 *掲載誌(紙)は1部、当館担当者までお送りください。 Web サイトは公開後に URL をお知らせください。 *当館が掲載内容を確認できるように、掲載前に校正をお送りください。 *①、③～⑥の画像については、右記のクレジットを記載 ©Naoko Kimura *⑦については、右記のクレジットを記載 ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2021 E4477 | | |
| 連絡欄 | | | |

- お申し込み受け付け後、画像データ(JPEG)のダウンロード先を返信でお知らせいたします。お手元の環境等によりダウンロードできない場合は別途ご連絡ください。
- 使用にあたっては、【画像の使用条件等】の内容をご了承いただくことが条件となります。必ずご確認くださいませようお願いします。

◎ 本展を紹介して下さる媒体には、展覧会の招待券(5組10名様)を読者プレゼント用に提供いたします。ご希望の方は下記にご記入ください。読者プレゼント用招待券を [希望する ・ しない]

<広報用画像に関する問い合わせ先>

目黒区美術館
 TEL.03-3714-1201 / FAX.03-3715-9328
 展覧会担当(学芸): 誉田・山田 広報担当(事務): 濱・竹森